

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月26日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ 上場取引所 東  
コード番号 3839 URL https://www.odk.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝根 秀和  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 作本 宜之 TEL 06-6202-0413  
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	964	5.0	△138	—	△120	—	△89	—
2023年3月期第1四半期	918	10.0	△195	—	△176	—	△128	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △70百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △129百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△11.05	—
2023年3月期第1四半期	△15.62	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	8,024	5,686	70.9	702.29
2023年3月期	8,537	5,797	67.9	715.95

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 5,686百万円 2023年3月期 5,797百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	11.4	340	△19.2	360	△19.9	240	1.4	29.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

\*当社業務は、大学入試業務をはじめとした年間ベースでの運用受託が中心であり、利益が下期に偏重する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	8,200,000株	2023年3月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	102,712株	2023年3月期	102,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	8,097,288株	2023年3月期1Q	8,197,288株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限解除やインバウンド需要の復活等が波及し、景気の緩やかな回復が続いているものの、物価上昇や為替相場の変動の影響等に注意を要する状況となっております。

情報サービス産業におきましては、労働力人口の減少という課題に対処するため、業務プロセスの効率化や労働生産性向上を目的としたDX等への関心は高いまま継続しており、社会全体としてIT活用の流れは堅調に推移しております。〔経済産業省特定サービス産業動態統計(2023年5月分確報)より〕

こうした環境下、当社グループでは、中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「新事業ポートフォリオの推進」「グループシナジーの創出」「M&A・アライアンスの推進」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

当社単体としては、中期経営計画の基本方針に「専門性の強化による新たな価値の創造」を掲げ、「個別収益管理の深化」「コンサル機能の発揮」「研究開発の推進」を本年度の重点課題として取り組んでおります。

グループ及び当社単体の重点課題に対する具体的取組みとしては、自己の知識・経験を証明する次世代サービスの創出に向けて、NFTを活用した実証実験を継続しております。当連結会計年度では株式会社F.C.大阪とパートナー契約を締結しており、インターンシップ受入れのデジタル支援やイベント体験実績NFT発行等により、若年層×地域×スポーツによるつながりを創出し、学生の体験を得られる場の創出及びJリーグチームの若年層集客の実現を目指してまいります。

また、当社とSBIビジネス・ソリューションズ株式会社が共同で提供するマイナンバー管理ワンストップサービス『マイナワン®』において、eKYC・本人確認API、身元確認をオンライン経由で代行する株式会社TRUSTDOCKと協業を開始いたしました。『マイナワン®』によるマイナンバーの取扱い実績とTRUSTDOCK社のブランド力・顧客販売網を相互に活かすことで、より多くの本人確認業務を必要とする事業者へのサービス提供を目指してまいります。

その他、『UCARO®』をデータのプラットフォームとして各事業領域をつなぐハブに育成するとともに、外部接点強化やサービス拡張等により保有するデータ量・種類の拡大を目指しております。今後も同サービスを軸とした成長戦略により、データビジネスによる新たな価値の創造を継続してまいります。

業績面では、前第2四半期連結会計期間に譲受した人材育成サポート事業や新規受託大学の工事進行基準売上上等により、売上高は964,661千円(前年同四半期比5.0%増)となりました。減価償却費の増加や研究開発費の発生があったものの、退職給付費用の減少等により、営業損失は138,647千円(前年同四半期は営業損失195,415千円)となりました。また、受取配当金の増加があった一方で保険解約返戻金の減少等により、経常損失は120,816千円(同経常損失176,217千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は89,452千円(同親会社株主に帰属する四半期純損失128,068千円)となりました。

当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、第1四半期連結累計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、第1四半期連結累計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

売上高の内訳は次のとおりであります。

#### <システム運用>

前第2四半期連結会計期間に譲受した人材育成サポート事業や新規受託大学の工事進行基準売上等により、899,332千円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

#### <システム開発及び保守>

証券業務における『SAKIX(サキガケ)』シリーズの『KIZUNA-X(キズナクロス)』関連開発等により、47,444千円(同43.1%増)となりました。

#### <機械販売>

医療システム用タブレット製品の販売等により、17,883千円(同53.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて512,997千円減の8,024,887千円となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて402,434千円減の2,338,215千円となりました。これは主に未払法人税等の納付による減少であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて110,562千円減の5,686,672千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2023年4月28日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,811,258	3,854,550
売掛金及び契約資産	2,253,528	616,364
商品	24,750	16,500
仕掛品	23,258	21,661
その他	117,900	162,386
貸倒引当金	△2,178	△535
流動資産合計	5,228,516	4,670,927
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	92,950	89,873
工具、器具及び備品（純額）	95,923	87,020
リース資産（純額）	149,106	133,594
有形固定資産合計	337,981	310,487
無形固定資産		
のれん	83,962	81,583
顧客関連資産	93,425	90,900
ソフトウェア	1,105,993	1,092,170
ソフトウェア仮勘定	177,441	215,505
その他	7,454	7,529
無形固定資産合計	1,468,277	1,487,689
投資その他の資産		
投資有価証券	978,678	1,006,740
繰延税金資産	231,146	259,251
差入保証金	172,363	172,049
その他	120,919	117,741
投資その他の資産合計	1,503,108	1,555,782
固定資産合計	3,309,367	3,353,960
資産合計	8,537,884	8,024,887

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	234,917	104,322
短期借入金	316,349	316,349
リース債務	60,917	59,175
未払金	120,156	49,238
未払費用	96,325	160,925
未払法人税等	147,132	9,217
賞与引当金	127,830	199,728
その他	329,975	221,362
流動負債合計	1,433,604	1,120,318
固定負債		
長期借入金	777,525	698,271
リース債務	100,426	85,559
退職給付に係る負債	429,093	434,066
固定負債合計	1,307,045	1,217,896
負債合計	2,740,649	2,338,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	695,020	695,020
利益剰余金	4,403,654	4,273,715
自己株式	△60,789	△60,789
株主資本合計	5,675,085	5,545,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,149	141,526
その他の包括利益累計額合計	122,149	141,526
非支配株主持分	—	—
純資産合計	5,797,234	5,686,672
負債純資産合計	8,537,884	8,024,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	918,855	964,661
売上原価	793,309	787,633
売上総利益	125,545	177,027
販売費及び一般管理費	320,960	315,675
営業損失(△)	△195,415	△138,647
営業外収益		
受取利息	109	3
受取配当金	15,197	16,972
受取手数料	254	242
保険解約返戻金	4,528	2,775
その他	482	139
営業外収益合計	20,571	20,133
営業外費用		
支払利息	1,230	1,429
為替差損	143	869
その他	—	3
営業外費用合計	1,373	2,302
経常損失(△)	△176,217	△120,816
特別損失		
固定資産除却損	3,146	—
特別損失合計	3,146	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△179,363	△120,816
法人税、住民税及び事業税	18,476	5,276
法人税等調整額	△69,771	△36,640
法人税等合計	△51,294	△31,363
四半期純損失(△)	△128,068	△89,452
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△128,068	△89,452



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△128,068	△89,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,427	19,377
その他の包括利益合計	△1,427	19,377
四半期包括利益	△129,496	△70,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129,496	△70,075
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。